

近代日本高等教育体制の黎明

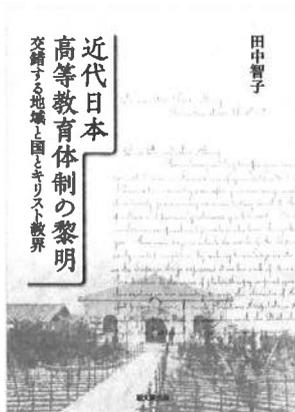
交錯する地域と国とキリスト教界

田中 智子 著

2012年4月刊行

▶ A5判・448頁／定価 7,350円(税5%込) ISBN978-4-7842-1618-5

医学、洋学一般を教育する場がいかに設置・運営されてきたか。主に1870年代初頭から1890年代初頭までを対象とし、各地域の高等教育体制の展開過程を、府県という地域行政主体、文部省という国の行政主体、伝道を志すキリスト教界、という三勢力の交錯のうちに描く。高等教育史を府県・国・民間勢力の相互関係史として再構成する一書。



序—未分化時代の地域的力学

第I部 キリスト教勢力の出現

—地域史としての宣教史—

第一章 神戸における近代医療の揺籃と

J・C・ベリー来港

兵庫県病院—地方行政府と医療／国際病院—居留民と医療／ベリーの医療伝道活動

第二章 医療宣教師ベリーと兵庫・飾磨県の行政・社会

兵庫県下での医療伝道／飾磨県下での医療伝道／県医療行政の展開と医療伝道のゆくえ

第三章 岡山県における医学・洋学教育体制の

形成とアメリカン・ボード

岡山県による医学・洋学教育の開始／岡山県とアメリカン・ボードの邂逅／岡山県下でのアメリカン・ボードの活動／岡山県とアメリカン・ボードの分離

第四章 京都府下の医学教育態勢と

新島襄の医学校設立構想

京都府下の医学教育／京都府会における府医学校存廃論議／京都国立医学社計画

第五章 大阪官立学校とキリスト教

アメリカン・ボードとお雇い外国人教師／「阪神バンド」の活動と教員・生徒／大阪中学校の発足とその影響

たなか・ともこ…京都大学文学部史学科卒業、京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学(日本史学専攻)、京都大学博士(文学)、現在、同志社大学人文科学研究科助教。

内容目次

第II部 文部省の学校の登場

—地域史としての官立学校史—

第六章 第三高等中学校設置問題再考

—京都府における「官立学校」の成立
第三高等中学校発足以前の状況／第三高等中学校の移転と京都府会／府県連合委員会の開催とその帰結

第七章 高等学校医学部時代の到来

—岡山県における「官立学校」の成立
一八八〇年代前半における府県医学校／岡山県における教育体制再編構想／第三高等中学校医学部の設置過程／地域医学教育体制の再編

補章 官立学校誘致現象の生成と変容

—京都と大阪の教育戦略

はじめての経験—高等学校設置問題／ライバル出現—官立工業学校設置問題／消えない過去—第三高等学校大学予科設置問題／新たな動機—京都帝国大学医科大学設置問題

第八章 府県連合学校構想史試論

—一八八〇年代における医学教育体制の再編

地域における医学校改革構想／地域における府県連合会／文部省の制度改革／高等学校制度

第九章 「官立学校」概念の輪郭

—「准官立」問題と同志社

「官立」の登場／「官立」の動揺／「准官立」の生成／「准官立」の構造化

終章 諸学校令下の高等教育体制再編

—東華学校(＝半県半民・同志社分校)の射程

私立英学校の創設と運営体制／新中学校制度への対応／経営方法の模索と閉校

結—これからの研究に向けて

初出一覧／あとがき／索引(人名・事項)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行: 思文閣出版

(京都 取引コード 3402)

冊数	冊	近代日本高等教育体制の黎明 本体7,000円(税別) ISBN978-4-7842-1618-5	
お名前		tel	
		e-mail	
ご住所	〒		
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい)		書店番線印

同志社女学校史の研究

宮澤正典著

現在の同志社女子大学・同志社女子中学校・高等学校の前身である「同志社女学校」。その1877年(明治10)創設から1945年(昭和20)までについて、新島襄と女子教育、同志社女学校と朝鮮、昭和戦時下の同志社女子部など、個別詳細に論じる。

▶A5判・374頁/定価2,940円

ISBN978-4-7842-1574-4

William Smith Clarkの教育思想の研究

小枝弘和著

札幌農学校の自由教育の系譜

アメリカに存在するクラーク関連資料や、手紙や草稿類などの活字化されていない資料をも十分に活用し、幼少期にさかのぼって彼が過ごしてきた環境をできるだけ明らかにすることで、その教育思想や実践の特質の主要因を究明する。

▶A5判・380頁/定価3,150円

ISBN978-4-7842-1561-4

増補 郷土教育運動の研究

伊藤純郎著

長らく品切れだった旧版に1章を加えて再版。昭和恐慌が深刻化し、郷土の立て直しをはかる自力更生が叫ばれていた1930年代に展開された郷土教育運動の歴史的意義を柳田国男の郷土研究論と関連させながら運動を推進した文部省、文部省とは異論を唱える郷土教育連盟、実際にそれをおこなう地域社会の反応を通じて、実証的に解明する。

▶A5判・口絵2頁・504頁/定価10,290円

ISBN978-4-7842-1402-0

知の伝達メディアの歴史研究 教育史像の再構築

辻本雅史編

本書では、「教育」を「知の伝達」ととらえ直し、その伝達のための媒体を「メディア」と規定することで、これまでのような、学校を中心とした教育史像ではなく、学校を含みながらも、学校を越えたところまでなされる人間形成の営みを、全体としてとらえなおす視点を提示する。

▶A5判・300頁/定価5,985円

ISBN978-4-7842-1500-3

西村茂樹研究 明治啓蒙思想と国民道徳論

真辺将之著

明治の啓蒙思想家・道徳運動家である西村茂樹の思想について、従来の「保守」と「進歩」という二項対立的な枠組みから脱却し、時代状況に応じた問題意識の変遷と主張の展開を、史料に基づいて跡づけることにより明らかにする。

▶A5判・500頁/定価8,190円

ISBN978-4-7842-1491-4

アメリカン・ボード200年

本井康博著

同志社と越後における伝道と教育活動

アメリカ最古のプロテスタント外国伝道組織、アメリカン・ボードについて、京都と北越を対象とし、その活動を検証する。【内容】京都ステーション/ミッションの伝道方針/長老派による京都伝道の開始/越後における活動/北日本ミッション年次報告 他

▶B5判・676頁/定価5,250円

ISBN978-4-7842-1543-0

近代日本と地域振興 京都府の近代

高久嶺之介著

明治前期の京都宮津間車道の開鑿・明治前期～中期にかけての琵琶湖疏水と鴨川運河の開鑿・明治初期～昭和の敗戦直後までの天橋立の保存とその振興・明治初期～昭和の敗戦直後にかけての童仙房村の開拓を取り上げ、地域振興の視点から考察する。

▶A5判・364頁/定価6,825円

ISBN978-4-7842-1570-6

近代医療のあけぼの 幕末・明治の医事制度

青柳精一著

遣外使節団の病院視察から、ドイツ医学の導入および医学校の創設、看護師・女医の誕生、医師法の制定と、よりよい医療を求めた先達のあゆみをたどる。長年医療ジャーナリズムに従事してきた著者が、幕末・明治の医事制度と社会背景について膨大な史料をもとに考証。

▶A5判・576頁/定価4,935円

ISBN978-4-7842-1583-6

三高の見果てぬ夢 中等・高等教育成立過程と折田彦市

巖平著

京都大学大学文書館所蔵「第三高等学校関係資料」等を駆使し、当時の「中学校」の教育機能を考察。その前身校以来、長く三高校長職にあった折田彦市に注目することで、高等中学校がいかなる理由で設けられたのかという、日本近代教育史研究の大きな欠落を埋める一書。

▶A5判・352頁/定価7,875円

ISBN978-4-7842-1399-3

札幌農学校と英語教育

外山敏雄著

1876年開設の札幌農学校は、北海道開拓の人材養成のみならず、内村鑑三・新渡戸稲造など文化史・思想上の巨人たちを生み出した。その類いまれな光芒を放つ草創期の札幌農学校の教育制度、お雇い教師、所蔵英書、出身の英学者たちに焦点をおき、その特異な存在と役割を明らかにする。

▶A5判・168頁/定価3,990円

ISBN4-7842-0691-4

明治期における不敬事件の研究

小股憲明著

天皇を中心とする明治政府の誕生以来、数多く発生しながら体系的な研究がされてこなかった不敬事件を、明治期について網羅。豊富な実例を整理・検討することによって明治国家の特質を考察し、天皇制と教育の関係、ひいては天皇制と近代日本および国民の関係を明らかにしようとする大著。

▶B5判・576頁/定価13,650円

ISBN978-4-7842-1501-0

森有礼における国民的主体の創出

長谷川精一著

初代文部大臣としても知られる森有礼は、大日本帝国憲法発布式典の当日に刺客の凶刃に倒れた。本書は彼の言説や行ってきた政策の目的が、日本国民の主体の創出にあったという視点から、これまで先行研究の大半が十分に検討してこなかった外国語の史料や文献をも利用し、さまざまな角度から検討を加えた画期的な一書。

▶A5判・466頁/定価9,450円

ISBN978-4-7842-1367-2

増補・改訂 西村茂樹全集 【全12巻・既刊11冊】

古川哲史監修・日本弘道会編

西村の学問的な業績を中心に構成し、これまで未発表の論説や『日本道徳論』の初版本など思想的にも貴重な著書が初めて公刊される。

▶A5判・平均900頁/既刊揃定価204,750円

第1・2・4巻各17,850円 第3巻19,425円 第5・6・8・9・11巻各18,900円 第7巻19,950円 第10巻17,325円

宣教と受容 明治期キリスト教の基礎的研究

中村博武著

經典成立史、新造語の成立経緯などの原理的な問題から浦上信徒総流罪に対する長崎外国人居留地の英字新聞や宣教師の書簡の解明、さらには上海租界地の宣教、内村鑑三と英字新聞の論争などを通して西洋文明が東アジアに与えた衝撃の一端を明かす。

▶A5判・610頁/定価12,600円

ISBN4-7842-1025-3

北垣国道日記「塵海」

塵海研究会編

北垣国道(1836～1916)は、京都府知事に就任した明治14年(1881)から、北海道庁長官等を経て明治34年(1901)までの活動や人々との交流を日記に書き残した。明治期地方官の実情を記したこの日記は、京都のみならず中央政治史や土木史・北海道地方史に寄与する資料。

▶A5判・652頁/定価10,290円

ISBN978-4-7842-1499-0

緒方惟準伝 緒方家の人々とその周辺

中山沃著

洪庵の嫡子で、ポンペ、ボードインらに学んだ惟準は、宮廷医療への西洋医学導入、大阪大学医学部・軍医学校の前身創設、大阪での医療基盤確立などに貢献。その自叙伝「緒方惟準先生一夕話」を軸として、著者が博搜した資料とともにその生涯と交遊を詳述。

▶A5判・1008頁/定価15,750円

ISBN978-4-7842-1563-8

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。